

株式会社 コマスヤアルテック



現代の建築物は社会環境の変化とともにその構造・デザイン・機能から社会・環境に対する配慮にいたるまで、多種多様なニーズに応じていきます。それは、建築物が人の暮らしの中でより大きな位置を占め、さらにより大きな役割を期待されているからに他なりません。

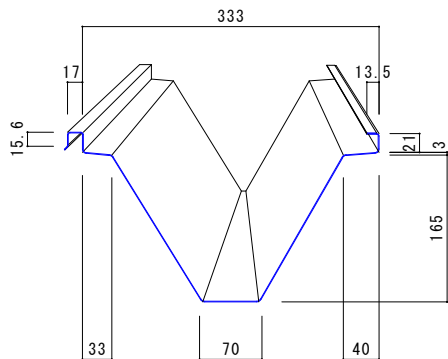
コマスヤアルテックはそれら多様な建築物の屋根や、外壁に使用される金属板のロールフォーミングや、プレス加工などの技術をもってニーズに応え、建築の最終段階における外観と、その保護に対する責任とを担っております。様々な形態・用途に最適な素材を精査し、最適な形
《完成させる技術》=ULTIMATE TECHNOLOGY
をその使命とします。

建築物の改修

現状の意匠を損ねず
設計の意図は崩さず
建築物は休まず
機能向上・省施工

以上を基本に研究開発を行っております。

KKルーフ ハゼⅠ型

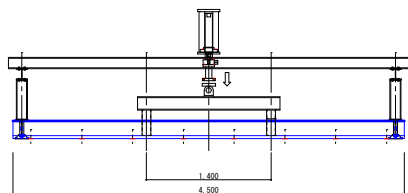


板厚	0.8～1.2 (0.6)
使用原板巾	610
加工可能長さ	min1,600
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0～8.0 (10.0)

□断面性能

板厚 (mm)	単位重量		断面性能			
	KG/m	KG/m ²	断面二次モーメント I _x (Cm ⁴ /m)		断面係数 Z _x (Cm ³ /m)	
			正圧	負圧	正圧	負圧
0.8	3.95	11.85	613.0	468.0	57.2	44.3
1.0	4.91	11.73	762.0	633.0	70.8	62.5
1.2	5.87	17.61	958.0	857.0	90.7	83.4

※断面性能は、JIS A 6514（金属製折板屋根構成材）の定める、耐力試験を実施しております。



負荷重耐力試験

専用部材

タイトフレーム

高強度各種

吊子

高強度各種

ケラハフレーム

棟用フレーム

吊子セット

止面戸

エブロン面戸
(箱 棟面戸)

見切面戸

軒先面戸

断熱金具

高さ、形状各種

雪止金具

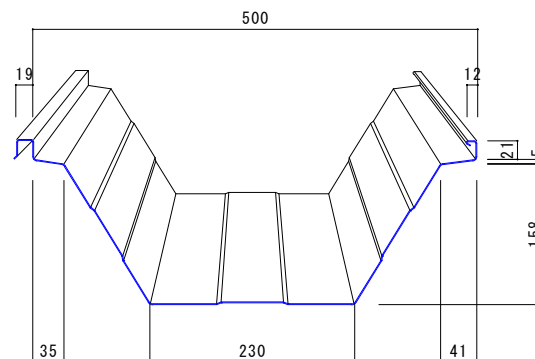
谷用雪止金具

棟金具

葺替金具

KKルーフ ハゼⅡ型

工場生産形状

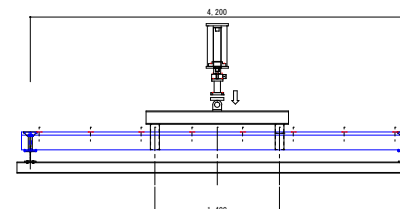


板厚	0.8～1.2 (0.6)
使用原板巾	762
加工可能長さ	min1,600
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0～8.0 (10.0)

□断面性能

板厚 (mm)	単位重量		断面性能			
	KG/m	KG/m ²	断面二次モーメント I _x (Cm ⁴ /m)		断面係数 Z _x (Cm ³ /m)	
			正圧	負圧	正圧	負圧
0.6	3.74	7.48	394.0	265.0	44.4	24.1
0.8	4.94	9.88	469.0	350.0	53.7	35.0
1.0	6.13	12.26	608.0	455.0	69.0	49.0
1.2	7.33	14.66	619.0	489.0	68.5	54.0

※断面性能は、JIS A 6514（金属製折板屋根構成材）の定める、耐力試験を実施しております。



正荷重耐力試験

専用部材

タイトフレーム

高強度各種

吊子

高強度各種

ケラハフレーム

棟用フレーム

吊子セット

止面戸

エブロン面戸
(箱 棟面戸)

見切面戸

軒先面戸

断熱金具

高さ、形状各種

雪止金具

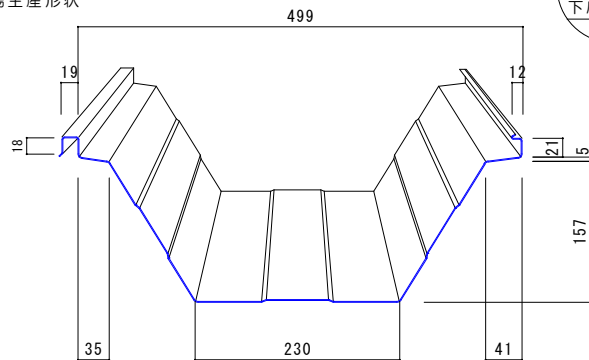
谷用雪止金具

棟金具

葺替金具

KKルーフ ハセⅡ型

現場生産形状



※現場加工用成型機形状



板厚	0.8～1.2 (0.6)
使用原板巾	762
加工可能長さ	min1,600
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0～8.0 (10.0)

□断面性能

板 厚 (mm)	単 位 重 量		断 面 性 能			
	KG/m	KG/m ²	断面二次モーメント I x (Cm ⁴ / m)		断面係数 Z x (Cm ³ / m)	
			正 圧	負 圧	正 圧	負 圧
0.6	3.74	7.48	295.0	162.0	33.0	19.6
0.8	4.94	9.88	495.0	314.0	51.4	34.6
1.0	6.13	12.26	613.0	443.0	62.8	48.6

※断面性能は、JIS A 6514（金属製折板屋根構成材）の定める、耐力試験を実施しております。



専用部材

タイトフレーム
高強度各種

吊子
高強度各種

ケラハフレーム

棟用フレーム

吊子セット

止面戸

エブロン面戸

(箱 棟面戸)

見切面戸

軒先面戸

断熱金具

高さ、形状各種

雪止金具

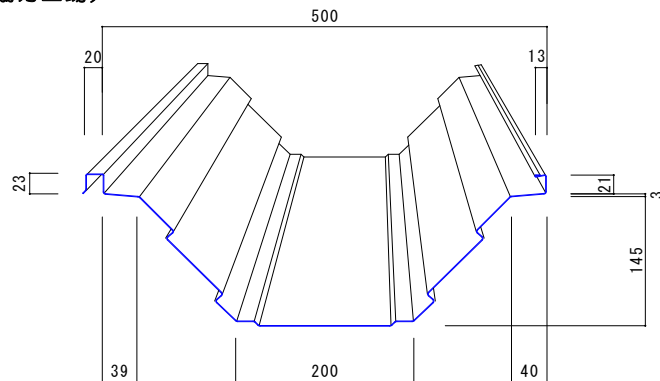
谷用雪止金具

棟金具

葺替金具

ニスフルーフ L145 (協力工場)

二段嵌合方式による高強度と吊子以による
優れた省施工性実現したシャーフで美しい屋根材

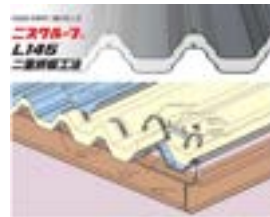


□断面性能

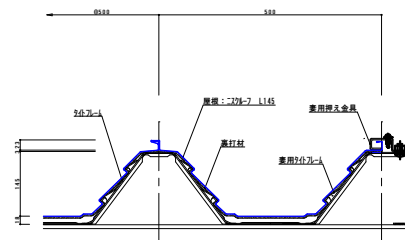
板 厚 (mm)	単 位 重 量		断 面 性 能			
	KG/m	KG/m ²	断面二次モーメント I x (Cm ⁴ / m)		断面係数 Z x (Cm ³ / m)	
			正 圧	負 圧	正 圧	負 圧
0.8	4.94	9.88	380.0	345.0	51.7	44.6

□接合部強度

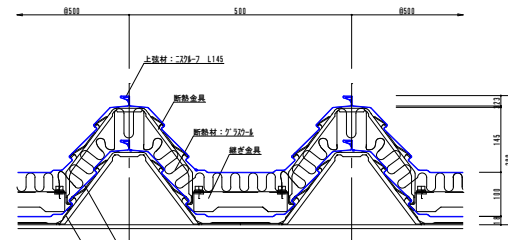
板 厚 (mm)	接 合 部 許 容 荷 重 (安全率：2)	
	正 圧	負 圧
シングル	10,170N/1山	10,000N/1山
ダブル	9,847N/1山	7,500N/1山



※断面性能は、JIS A 6514（金属製折板屋根構成材）の定める、耐力試験を実施しております。



ニスフルーフ L145 シングル葺き

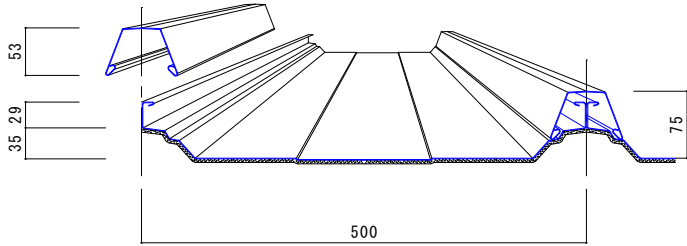


ニスフルーフ L145 二重葺き

ニスフル-7 **キャップ** 式による嵌合折板、大型7-**キャップ**を設けることにより

C-80

毛細管現象を、皆無に致します。



板厚		0.8・1.0
原板巾	本体	610
	キャップ	192(610/3)
屋根勾配		5/100以上
自然曲げ半径		100m以上
最小曲げ半径		7-加工 (20mR以上)
断熱材		4.0～6.0

□断面性能

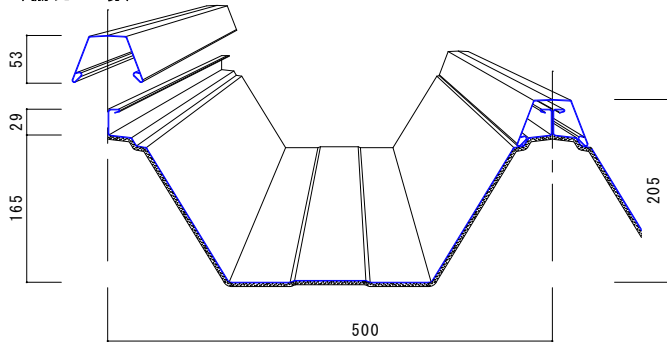
板 厚 (mm)	単 位 重 量		断 面 性 能			
	KG/m	KG/㎡	断面二次モーメント I _x (Cm ⁴ /m)		断面係数 Z _x (Cm ³ /m)	
			正 圧	負 圧	正 圧	負 圧
0.8	5.20	10.40	57.4	38.5	13.4	9.2
1.0	6.45	12.90	67.7	44.9	15.7	10.7

□専用部材

日鉄鋼鉄(株)
専用資料参照

ニスフル-7 **C-200** **C-80** の大型化 安定感のある屋根外観です。

(協力工場)



板厚		0.8・1.0
原板巾	本体	762
	キャップ	192(762/4)
屋根勾配		3/100以上
自然曲げ半径		250m以上
断熱材		4.0～6.0

□断面性能

板 厚 (mm)	単 位 重 量		断 面 性 能			
	KG/m	KG/㎡	断面二次モーメント I _x (Cm ⁴ /m)		断面係数 Z _x (Cm ³ /m)	
			正 圧	負 圧	正 圧	負 圧
0.8	6.27	12.54	494.6	502.3	44.8	45.5
1.0	7.76	15.52	830.8	602.5	75.8	54.5

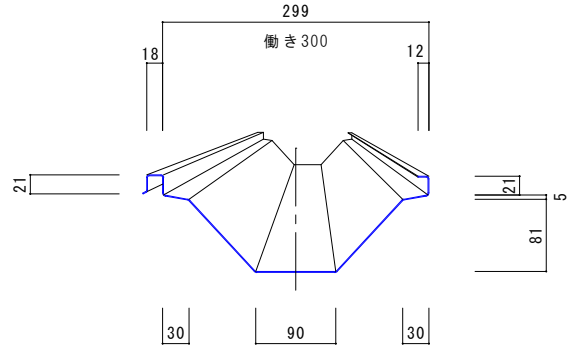
□専用部材

日鉄鋼鉄(株)
専用資料参照

KKル-7

ハセⅢ型

比較的規模の小さい建築物にマッチする、屋根材です。
2枚で、600mm働きにする屋根材で、
軽量の、施工性が良い屋根材です。



板厚	0.8～1.0 (0.6)
使用原板巾	457
加工可能長さ	min1,600
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0～6.0

□専用部材

タイトフレーム
高強度各種

吊子
高強度各種

ケラハフレーム

棟用フレーム
吊子セット

止面戸

エフロン面戸
(箱 棟面戸)

見切面戸

軒先面戸

断熱金具
高さ、形状各種

雪止金具

谷用雪止金具

棟金具

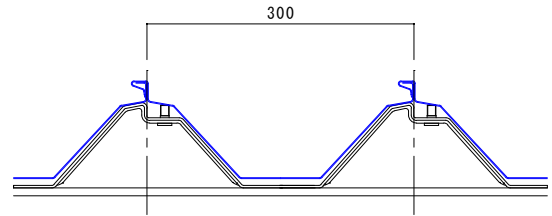
葺替金具

□断面性能

板 厚 (mm)	単 位 重 量		断 面 性 能			
	KG/m	KG/㎡	断面二次モーメント I _x (Cm ⁴ /m)		断面係数 Z _x (Cm ³ /m)	
			正 圧	負 圧	正 圧	負 圧
0.8	2.96	9.87	129.0	131.0	26.1	23.8
1.0	3.68	12.26	161.0	169.0	32.6	31.4

※断面性能は、JIS A 6514（金属製折板屋根構成材）の定める、耐力試験を実施しております。

□ 断面形状



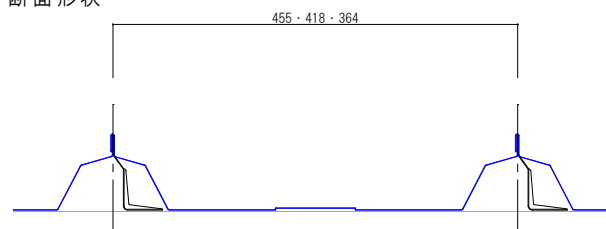
(ニ一ノ七)

山高を高くすることにより、オーバ-を遅らせます。

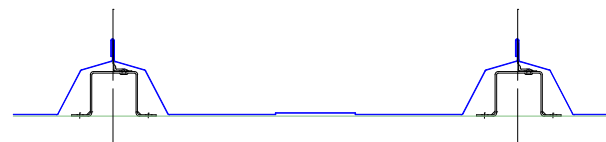


※特殊働きについては、弊社担当者まで、ご相談ください。

□ 断面形状



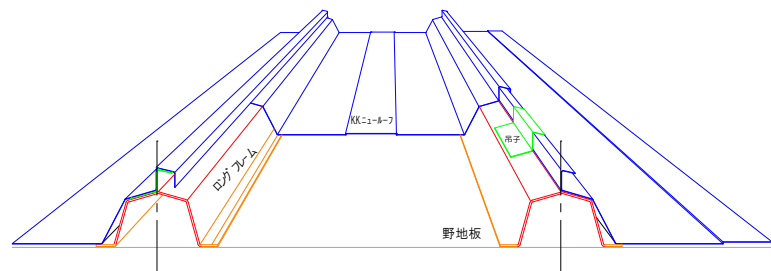
吊子止付け仕様



吊子一体　タイトフレーム仕様

☐ 耐雪仕様

豪雪地において、母屋間をタイフレームによって一体にし屋根材に頼ることがなく、野地板と、タイフレームで耐力を分担させる工法です。



ロング フレーム

※野地の仕様、母屋間距離によって、ルーム形状は、変更、

板厚	0.4～0.8
使用原板巾	～610
加工可能長さ	min1,300
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0～6.0

専用部材

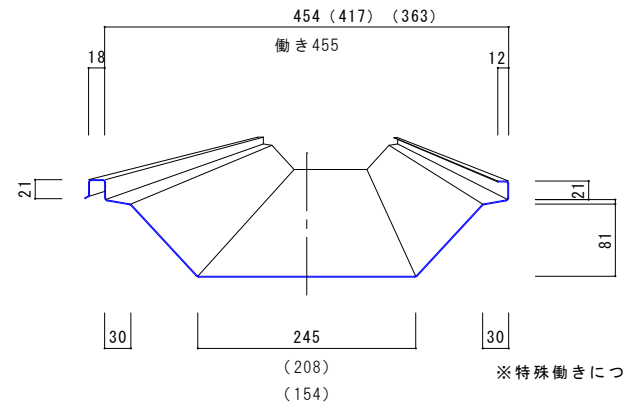
タイフレーム 吊子
止面戸
17°の面戸
見切面戸
軒先面戸
雪止金具
谷用雪止金具
棟金具
ロングフレーム 吊子

KKルーフ

働き幅を455mm・山高86mm 経済的な屋根材です。

働き幅を、自由に変更することが、可能です。

ハセ[◆]5型



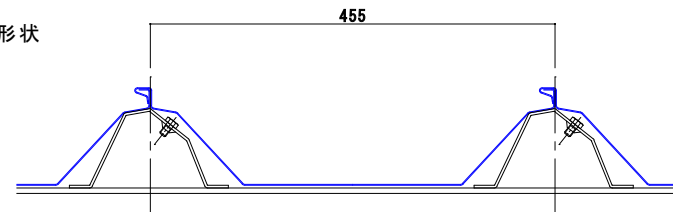
※特殊働きについては、弊社担当者まで、ご相談ください。

□断面性能

板 厚 (mm)	単 位 重 量		断 面 性 能			
	KG/m	KG/m ²	断面二次モーメント		断面係数	
			I x (Cm ⁴ / m)		Z x (Cm ³ / m)	
			正 圧	負 圧	正 圧	負 圧
0.8	3.58	8.68	86.0	92.0	16.5	19.6

※断面性能は、JIS A 6514（金属製折板屋根構成材）の定める、耐力試験を実施しております。

□ 断面形状



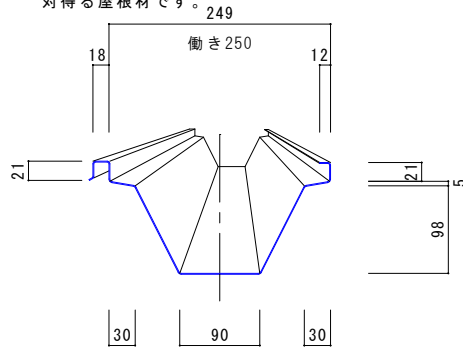
板厚	0.6～1.0
使用原板巾	～610
加工可能長さ	min1,600
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0～6.0

専用部材

タイフレーム 吊子
止面戸
17°の面戸
見切面戸
軒先面戸
雪止金具
谷用雪止金具
棟金具

KKルーフ ハセ7型

小規模建築物にマッチした屋根材です。
働き幅250mmに対して、山高103mmで、耐雪荷重にも
対得る屋根材です。



※特殊働きについては、弊社担当者まで、ご相談ください。

口断面性能

板 厚 (mm)	単 位 重 量		断 面 性 能			
	KG/m	KG/m ²	断面二次モーメント I _x (Cm ⁴ /m)		断面係数 Z _x (Cm ³ /m)	
			正 圧	負 圧	正 圧	負 圧
0.8	2.96	11.84	258.0	215.0	44.5	35.5

※断面性能は、JIS A 6514（金属製折板屋根構成材）の定める、耐力試験を実施しております。

専用部材

タイトフレーム
吊子

止面戸

エブロン面戸

見切面戸

軒先面戸

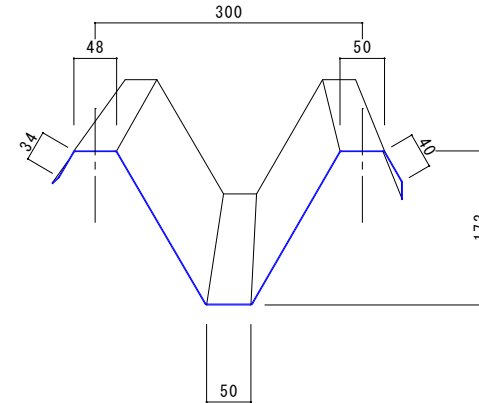
雪止金具

谷用雪止金具

棟金具

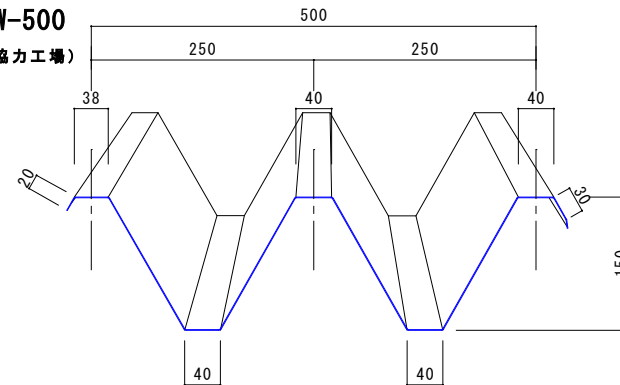
KKルーフ V-300

歴史のある従来型の屋根材です。
建物の規模によって、選べます。



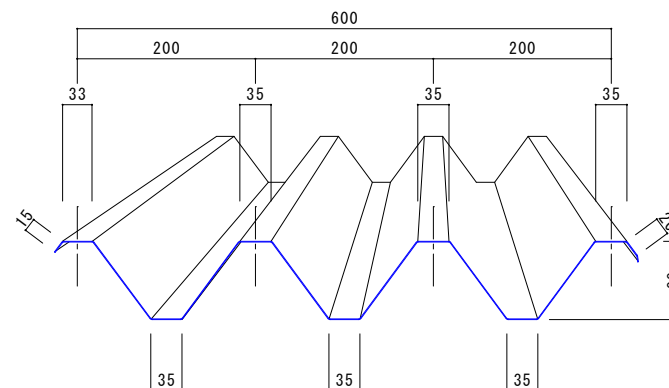
KKルーフ

W-500 (協力工場)



KKルーフ

W-600



板厚	1.2～1.6 0.8～1.0
使用原板巾	610
加工可能長さ	min1,900
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	200m以上
断熱材	4.0～10.0

板厚	0.8～1.0
使用原板巾	914
加工可能長さ	min1,200
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	200m以上
断熱材	4.0～8.0

板厚	0.6～0.8
使用原板巾	914
加工可能長さ	min1,900
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	150m以上
断熱材	4.0～6.0

水下・水上ラジアル工法

KK.ル-7 立平葺



棟折・ラシアル加工

詳細・注意事項は、建築の計画段階で、弊社担当まで、ご相談ください。

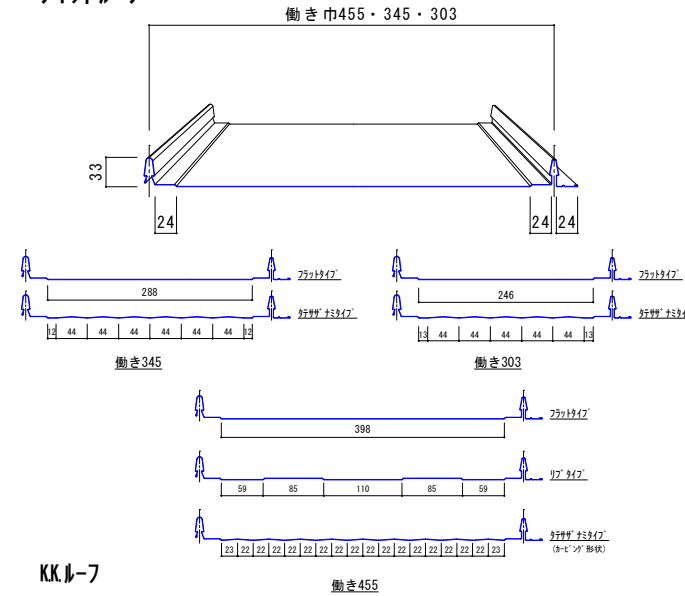
ジョイント工法

棟折工法

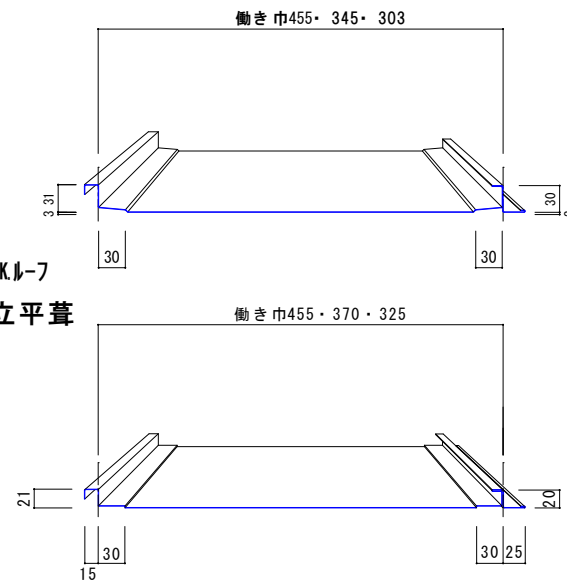
KK.ル-7 立平葺

K.K. ルーフ
フィットルーフ

水上・水下のカット外加工を行うことにより
断面形状の安定化を可能にし、止水性を向上します。



H立平葺「山高を高くする事により、オハ⁺フ⁺を遅らせます。」



立平葺

板厚	0.4～0.5
使用原板巾	610・500・457
加工可能長さ	min1,200
屋根勾配	5/100以上
自然曲げ半径	100m以上 (カ-ビ'ンク' 5m以上)
止水材	ホットメルト

※フック 先端部 カットアウト
※カービング は特殊サナミが入ります。
※カービング は働き巾 455mmのみです。

板厚	0.35～0.6
使用原板巾	610・500・457
加工可能長さ	min1,200
屋根勾配	5/100以上
自然曲げ半径	100m以上 (カーブング 4m以上)
止水材	ホットメルト フ・チルテプ®

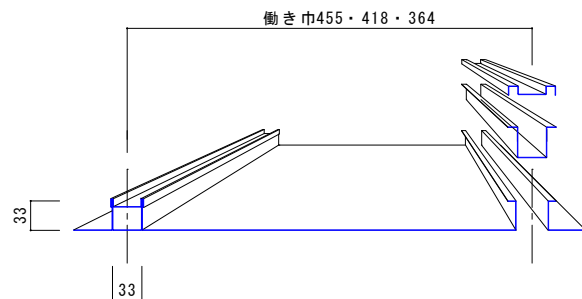
※カービングは働き巾370・325mmのみです。

板厚	0.35～0.6
使用原板巾	585・500・457
加工可能長さ	min1,200
屋根勾配	5/100以上
自然曲げ半径	100m以上 (ホーリング4m以上)
止水材	ホットメルト フ・チルテープ

※カービックは特殊サナミが入ります。

KKJ-7 瓦棒葺

1955年に開発された、「長尺屋根」の原点。
特に、豪雪地域には、様々な工夫がなされてます。

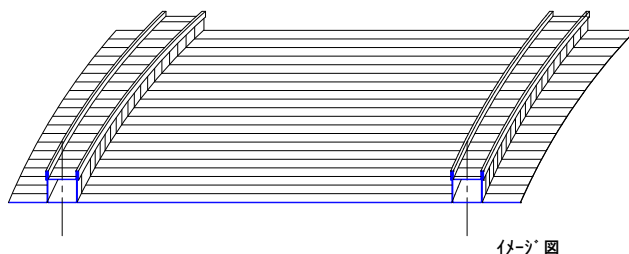


板厚	0.35～0.5
使用原板巾	1,000・914
加工可能長さ	min600
屋根勾配	1/100以上
自然曲げ半径	15m以上 (カービング2m以上)
溝板・キャップ・通吊子	

湾曲瓦棒葺

瓦棒葺の湾曲工法です。

本体・通し吊子。キャップ共に、カービング加工
する事により、自然曲げ半径では、不可能な
半径でも、可能にします。

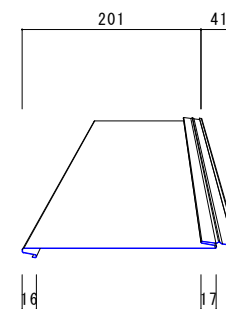


板厚	0.35～0.5
使用原板巾	1,000・914
加工可能長さ	min600
屋根勾配	1/100以上
湾曲曲げ半径	2m以上
溝板・キャップ・通吊子	

※特殊サッシが入ります。

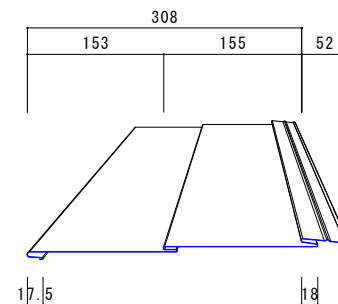
KKJ-7 「横葺きの定番」

横葺1段



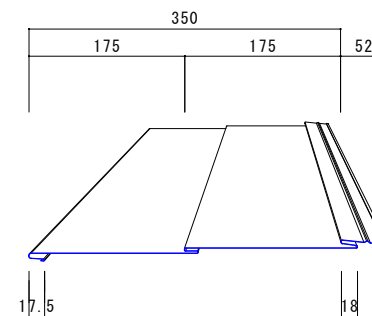
KKJ-7

横葺2段Ⅰ型



KKJ-7

横葺2段Ⅱ型



板厚	0.35～0.5
使用原板巾	303
加工可能長さ	min1,100
屋根勾配	25/100以上

※サッシ入れが可能です。

板厚	0.35～0.5
使用原板巾	457
加工可能長さ	min1,100
屋根勾配	25/100以上

※サッシ入れが可能です。

板厚	0.35～0.5
使用原板巾	500
加工可能長さ	min1,100
屋根勾配	25/100以上

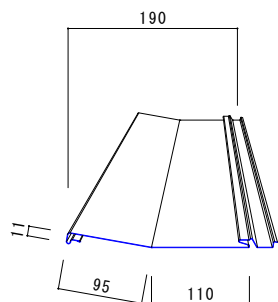
※サッシ入れが可能です。

エパ-ル-7

段葺1型

(IH⁺-ル-71型)

水平ラインが、優雅で美しい屋根です。
防水性、耐風圧性に優れています。

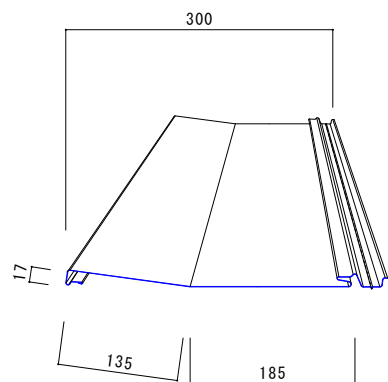


エパ-ル-7

段葺2型

(IH⁺-ル-72型)

I 型を大型化
防水性、耐風圧性に優れています。

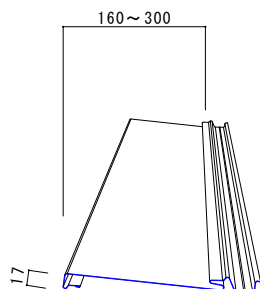


KKル-7

段葺2F型

(働可変)

様々な都合で、働き幅を、
限定したい建築物に、ご使用頂けます。



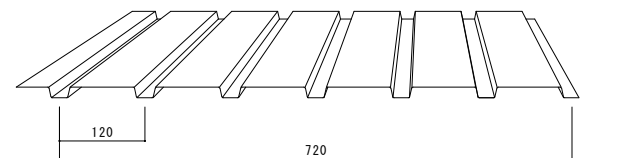
板厚	0.4~0.5
使用原板巾	303
加工可能長さ	min900
屋根勾配	25/100以上
断熱材	—

板厚	0.4~0.6
使用原板巾	457
加工可能長さ	min900
屋根勾配	25/100以上
断熱材	4.0

板厚	0.4~0.6
使用原板巾	317~(457)
加工可能長さ	min900
屋根勾配	25/100以上
断熱材	4.0

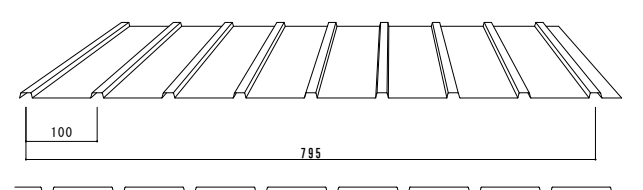
KKサイト[®]ィンク[®]

角波KK-70



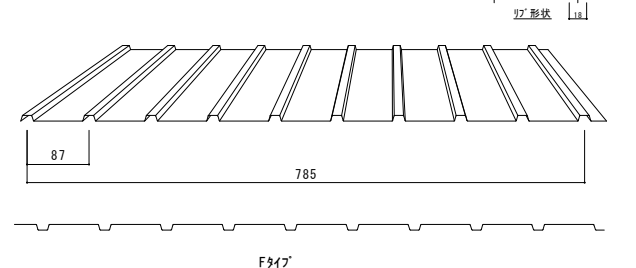
KKサイト[®]ィンク[®]

角波KK-90



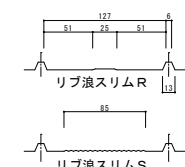
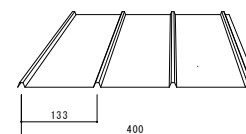
KKサイト[®]ィンク[®]

角波KK-100



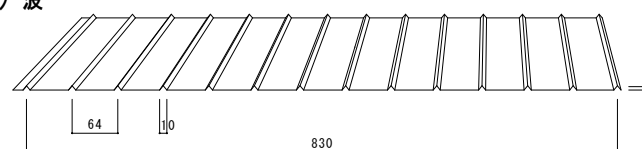
KKサイト[®]ィンク[®]

リブ浪スリムF



KKサイト[®]ィンク[®] (協力工場) 生産終了予定

リブ波



板厚	0.4~0.5(0.6)
使用原板巾	914
加工可能長さ	min850

※板厚、鋼種によって、働きは数mmの違いがあります。

板厚	0.35~0.5
使用原板巾	914
加工可能長さ	min650
Fタイプ	成型可能

※板厚、鋼種によって、働きは数mmの違いがあります。

板厚	0.35~0.5
使用原板巾	914
加工可能長さ	min650
Fタイプ	成型可能

※板厚、鋼種によって、働きは数mmの違いがあります。

板厚	0.35~0.4
使用原板巾	457
加工可能長さ	min650

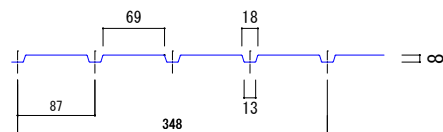
※板厚、鋼種によって、働きは数mmの違いがあります。

板厚	0.35~0.4
使用原板巾	914
加工可能長さ	min800

※板厚、鋼種によって、働きは数mmの違いがあります。

KKサテック

角波スリム F

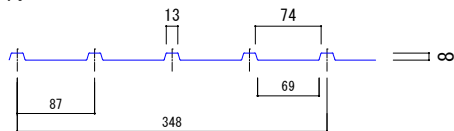


板厚	0.35～0.4
使用原板巾	457
加工可能長さ	min650

※板厚、鋼種によって、働きは数mmの違いがあります。

KKサテック

角波スリム R

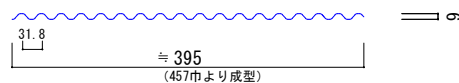


板厚	0.35～0.4
使用原板巾	457
加工可能長さ	min650

※板厚、鋼種によって、働きは数mmの違いがあります。

KKサテック

小波スリム

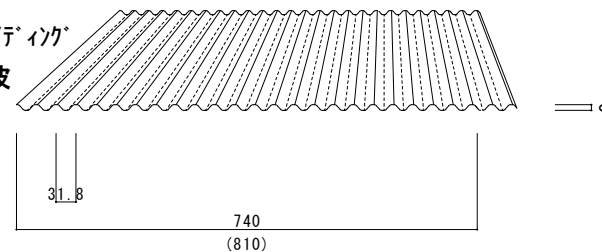


板厚	0.35～0.4
使用原板巾	457, 500, 610
加工可能長さ	min650

※板厚、鋼種によって、働きは数mmの違いがあります。

KKサテック

小波

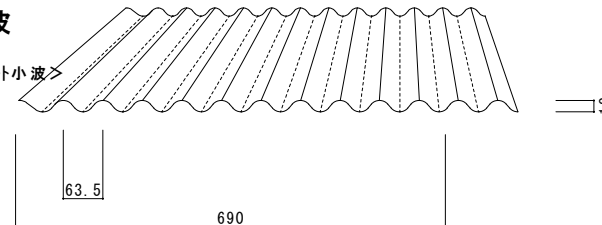


板厚	0.35～0.4
使用原板巾	914 (1,000)
加工可能長さ	min650
屋根勾配	30/100以上
自然曲げ半径	15m以上
山数	26 (28)

KKサテック (協力工場)

中波

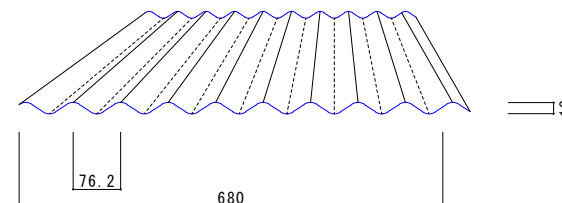
<スレート小波>



板厚	0.35～0.5
使用原板巾	914
加工可能長さ	min650
屋根勾配	30/100以上
自然曲げ半径	15m以上
山数	12.5

KKサテック 「生産中止予定」

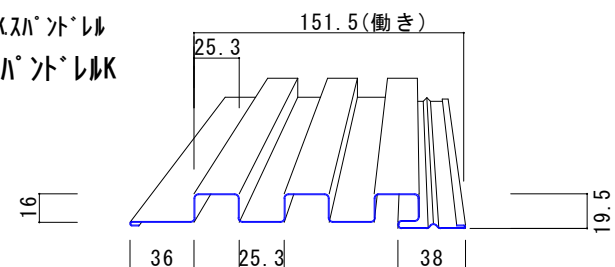
大波



板厚	0.35～0.6
使用原板巾	914
加工可能長さ	min900
屋根勾配	30/100以上
自然曲げ半径	15m以上
山数	10.5

KKスパントレ

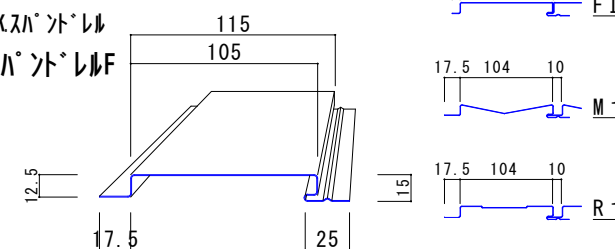
スパントレK



板厚	0.4～0.5
使用原板巾	3/914
加工可能長さ	min550

KKスパントレ

スパントレF



板厚	0.4～0.5
使用原板巾	5/914
加工可能長さ	min550

新築施工



段葺1型（ER-I 型）



H^レ 4型（コ-ル-7）横葺き2段 1型



立平葺（斜行）



H^レ I 型（ラジ-アル工法）縦ジョイント工法

新築施工



H^レ II 型

カラ-GL t=0.8（ラジ-アル加工 ・ ジョイント工法・ 2重葺き）



立平葺き

特殊働き フッソ樹脂鋼板 t=0.6

止水材 ホットメルト充填 軒先カットアウ



H^レ II 型

改修施工



V-300

t=1.6 (ラジアル工法・ジョイント工法)



立平葺き

塗装SUS t=0.4 軒先ラジアル・妻側R加工



ハゼⅡ型 (ラジアル工法)

既存屋根陥没 (特殊金物・縦ジョイント工法)

改修施工



ニスアルーフ やまなみ



ニユールーフ

断熱工法・耐雪ロングフレーム工法

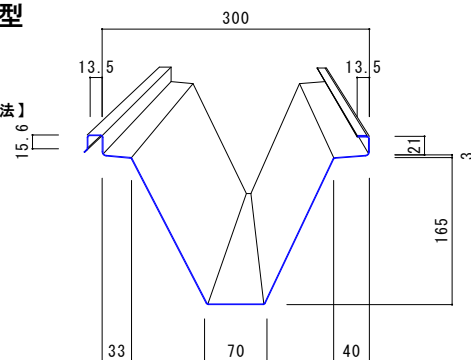


ハゼⅡ型

ハゼ166→特殊葺き替え金物→ハゼⅡ型

KKJ-7 ハゼⅠ型 (300T)

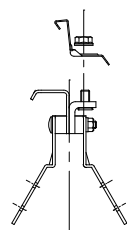
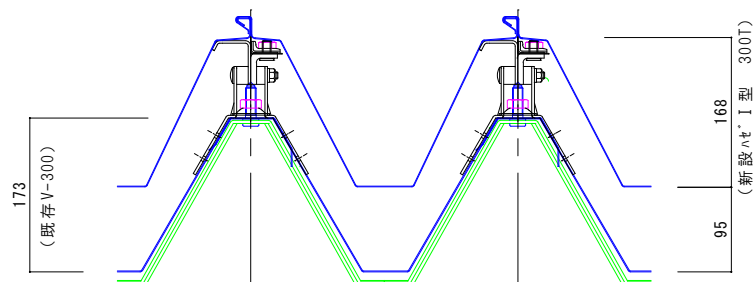
【改修工法】



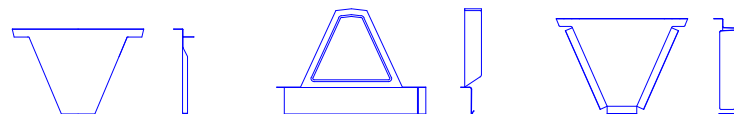
V-300等のカバー工法。ボルト式折板を、
止水性の良いハゼ式折板でカバーする屋根材です。

板厚	0.8～1.2 (0.6)
使用原板巾	610
加工可能長さ	min1,100
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0～8.0 (10.0)

断面



断熱仕様



棟面戸

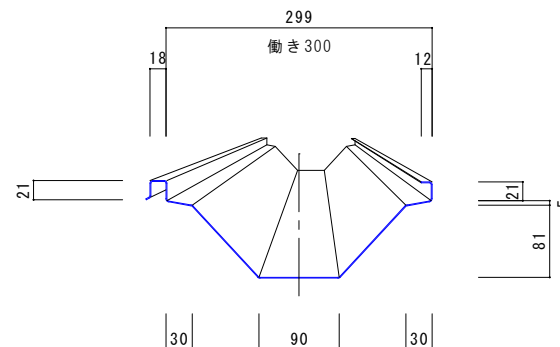
見切面戸

止面戸

※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム躯体状況を十分調査の上、工法を選択頂きますようお願い申し上げます。

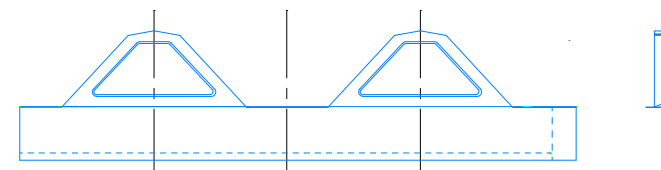
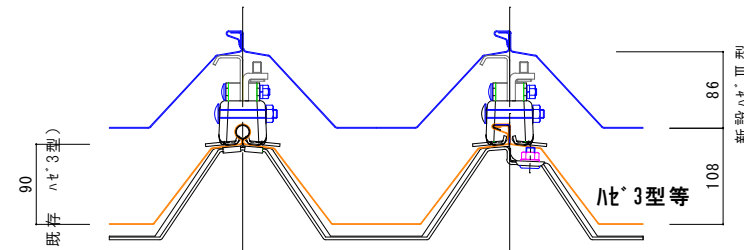
KKJ-7 ハゼⅢ型

ハゼ3型等のカバー工法。、
既存の3型等に対して、1山施工によって、
施工性を良くしたカバー屋根材です。



板厚	0.8～1.0 (0.6)
使用原板巾	457
加工可能長さ	min1,100
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0～6.0

断面



見切面戸



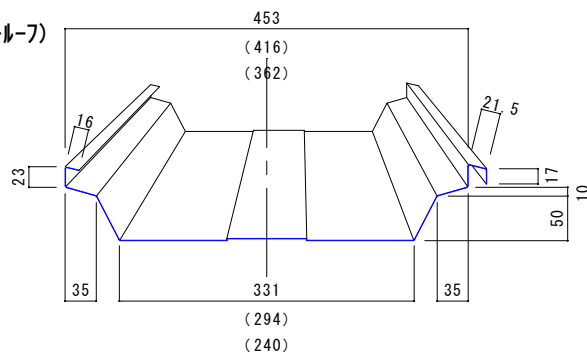
止面戸

17°面戸

※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム躯体状況を十分調査の上、工法を選択頂きますようお願い申し上げます。

KKルーフ ハセ4型 (ニュールーフ)

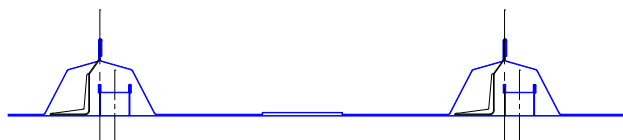
瓦棒などのカバー工法です。
断面形状を考慮し、様々な既存野地板屋根の
カバーが、可能です。



板厚	0.8~1.0 (0.6)
使用原板巾	610
加工可能長さ	min1,300
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0~6.0

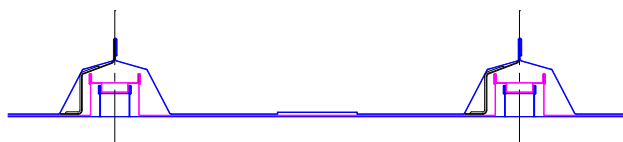
※特殊働きについては、弊社担当者まで、ご相談ください。

□断面形状



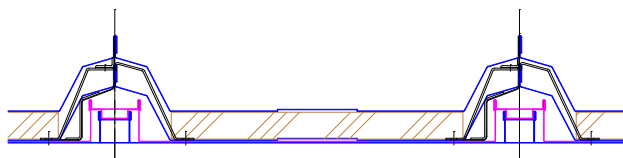
《瓦棒⇒KKハセ4型（ニュールーフ）》

瓦棒の改修としてのカバー工法です。
ハセ式立平・勘合式立平の改修カバー工法が可能です。



《瓦棒⇒KKカバールーフ⇒KKハセIV型（ニュールーフ）》

カバールーフの改修として、3枚目のカバー工法です。



《瓦棒⇒KKカバールーフ⇒KKハセIV型（ニュールーフ）⇒断熱KKハセIV型（ニュールーフ）》

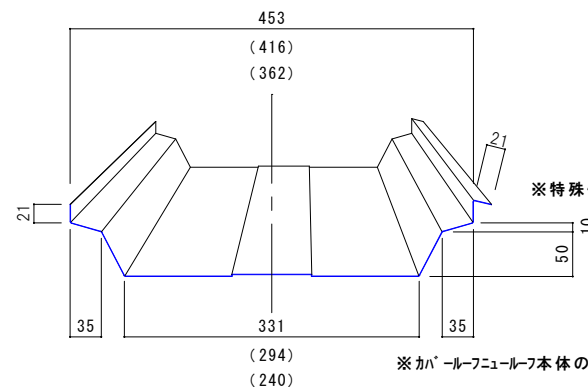
スタイロフォームを断熱材として敷き込む事により、4枚目のニュールーフカバーが可能です、

※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム・母屋・躯体状況を十分調査の上、工法を選択頂きます様お願い申し上げます。

KKルーフ アンダーニュールーフ (ニュールーフ カバー工法)

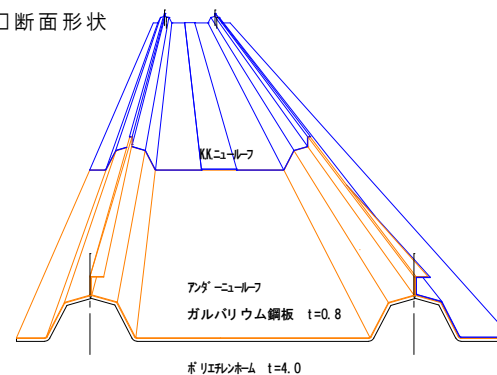
著しく野地板の欠損や、不陸の場合に敷きこむことにより
不具合を軽減します。

又、既存屋根材（瓦棒など）の、錆により穴あき、
欠損をカバーします。



※カバールーフニュールーフ本体の、アンダーニュールーフ部分は結露防止剤は、カットして下さい。

□断面形状



板厚	0.8
使用原板巾	610
加工可能長さ	min1,300
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0 (要貼付け)

※特殊働きについては、弊社担当者まで、ご相談ください。

専用部材

コーキング

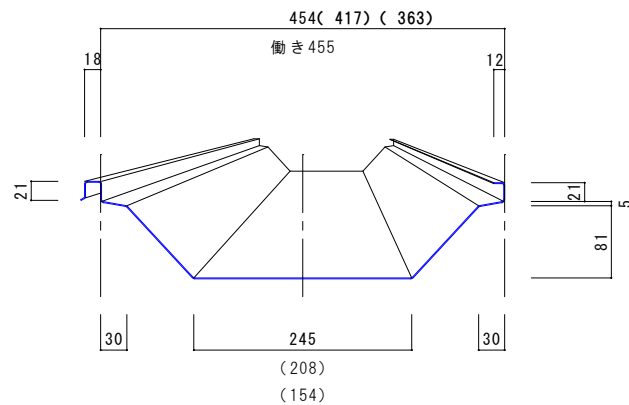
※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム・母屋・躯体状況を十分調査の上、工法を選択頂きます様お願い申し上げます。

KKL-7

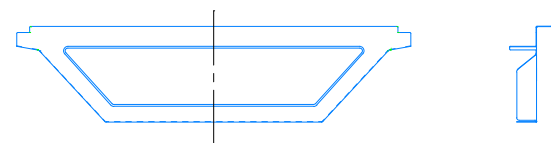
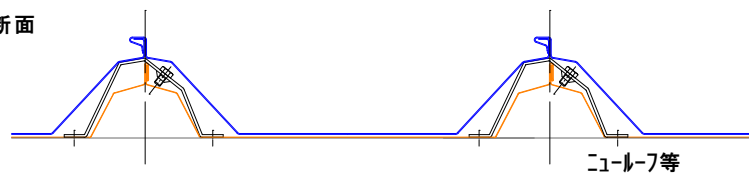
ハゼ5型

新設タイトフレームを止付ける事により、
ニールーフ(ハゼ4型)をカバー工法で施工可能です。
2番ハゼ締めが、不要です。

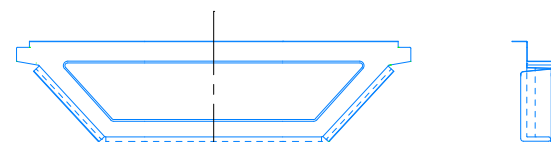
板厚	0.8~1.0 (0.6)
使用原板巾	457
加工可能長さ	min1,600
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0~6.0



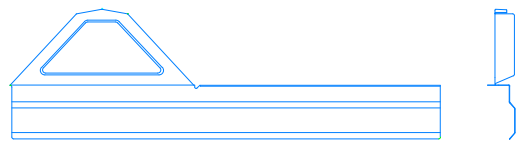
断面



17°の面戸



止面戸



見切面戸

専用部材

葺替金具
高さは、お問合せ
断熱金具
高さは、お問合せ
止面戸
17°の面戸
見切面戸
棟金具
雪止金具

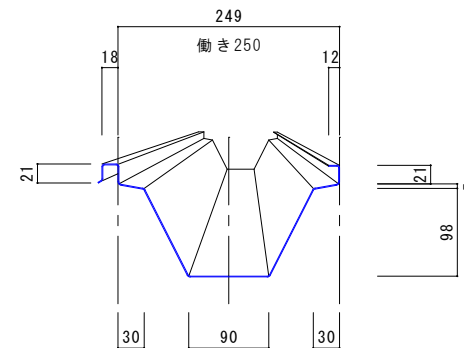
※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム躯体状況を十分調査の上、工法を選択頂きます様お願い申し上げます。

KKL-7

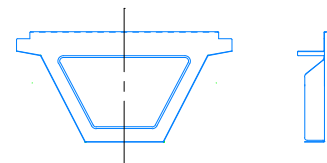
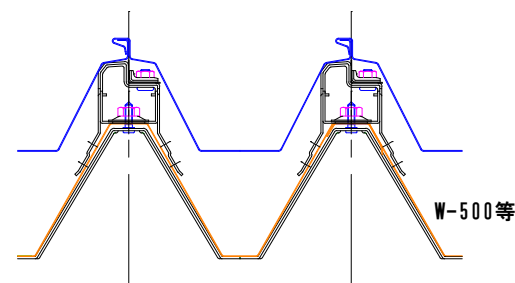
ハゼ7型

重ね式折板W-500等のカバー工法。
既存のW-500等(2山)に対して、1山形状にし
施工性を良くしたカバー屋根材です。

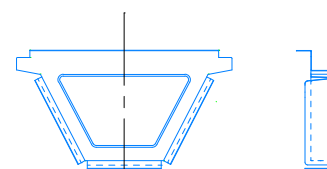
板厚	0.8~1.0 (0.6)
使用原板巾	457
加工可能長さ	min1,600
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0~6.0



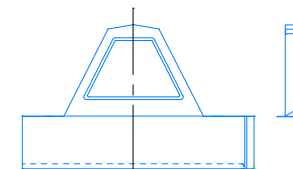
断面



17°の面戸



止面戸



見切面戸

専用部材

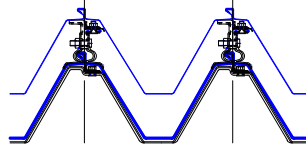
葺替金具
高さは、お問合せ
断熱金具
高さは、お問合せ
止面戸
17°の面戸
見切面戸
棟金具
雪止金具

※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム躯体状況を十分調査の上、工法を選択頂きます様お願い申し上げます。

KK-Ⅱ-7

ハゼⅠ型⇒ハゼⅠ型

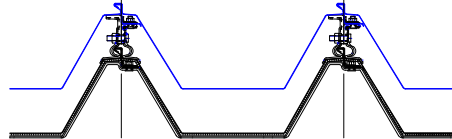
働き幅333mmの折板のカバー工法です。



《ハゼⅠ型 ⇒KK-Ⅱ-7 ハゼⅠ型》

ハゼⅡ型⇒ハゼⅡ型

1つ山働き幅500mmの折板のカバー工法です。



《ハゼⅡ型 ⇒KK-Ⅱ-7 ハゼⅡ型》

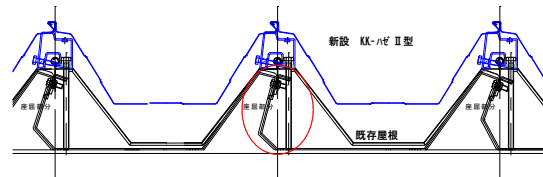
断面

◎ 既存タイトフレーム陥没により、既存ハゼ位置の移動・補強の場合

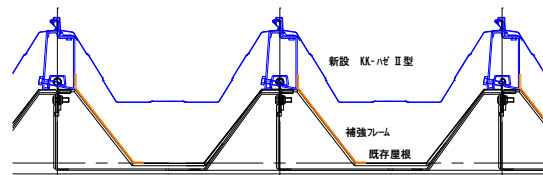
ハゼⅡ型⇒ハゼⅡ型

「既存折板及びタイトフレームが著しく変形の場合のカバー工法」

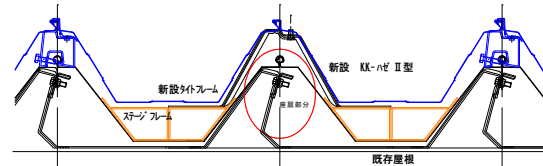
軒先座屈補強



一般部タイトフレーム補強



一般部タイトフレーム座屈補強



※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム躯体状況を十分調査の上、工法を選択頂きますようお願い申し上げます。

※詳細については、弊社担当まで、お問い合わせ願います。

専用部材

葺替金具

断熱金具

ケラバ 葺替金具

ケラバ 断熱金具

止面戸

17°ロン面戸

H軒先見切面戸

専用部材

H=葺替金具

タイトフレーム

軒先補強
葺替金具

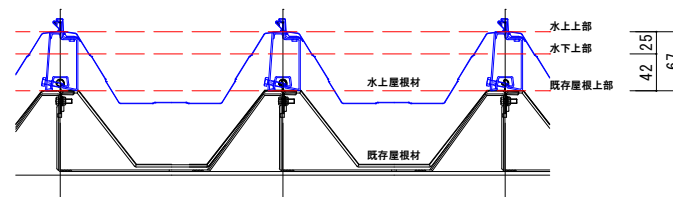
ステージフレーム

補強タイトフレーム

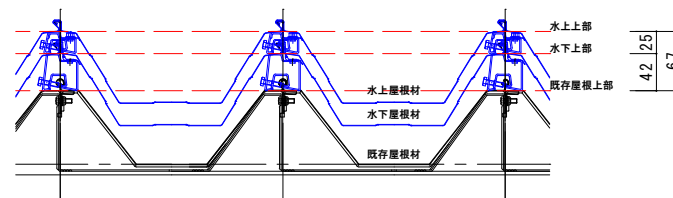
KK-Ⅱ-7

KK-縦継ぎ工法「ハゼⅡ型」

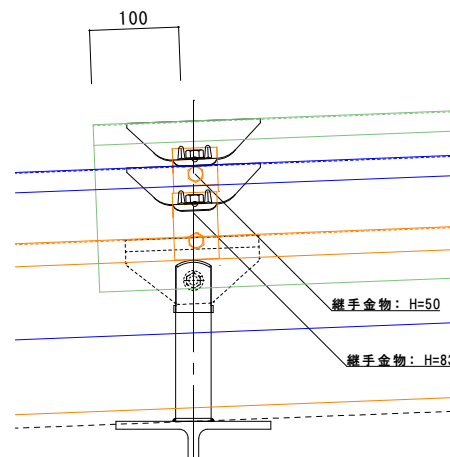
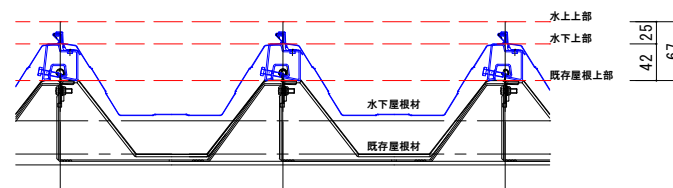
水上



中間



水下



※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム躯体状況を十分調査の上、工法を選択頂きますようお願い申し上げます。

※詳細については、弊社担当まで、お問い合わせ願います。

専用部材

葺替金具

高さは、お問合せ

断熱金具

高さは、お問合せ

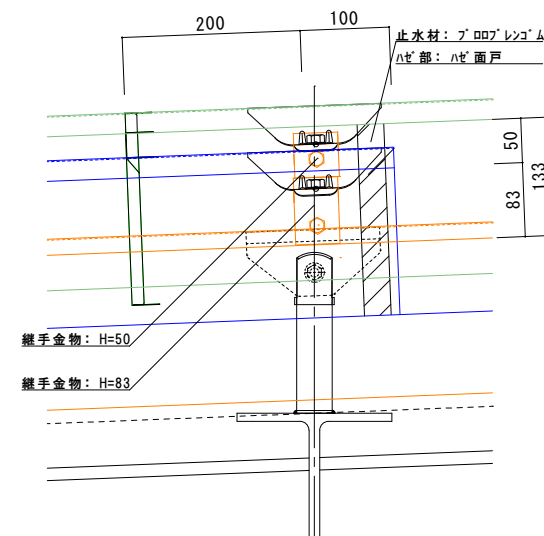
止面戸

17°ロン面戸

見切面戸

棟金具

雪止金具



継手金物：H=50

継手金物：H=83

継手金物：H=83

継手金物：H=83

継手金物：H=83

※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム躯体状況を十分調査の上、工法を選択頂きますようお願い申し上げます。

※詳細については、弊社担当まで、お問い合わせ願います。

ニスフル-7

折板加へ工法「かいしん」

施工現場が狭い、トレー侵入が不可能の場合、
現場加工のスペースが無い、等の状況の時に。
日鉄鋼板を開発工法です。当社のKK ハゼⅡ型は、ライセンス取得済みです。

既存の屋根をはがさない加へ工法は、改修工事中も操作が可能
既存屋根材の撤去費用、産業廃棄物処理費を軽減できます。

専用資料参照

専用部材

施工マニュアル



日鉄鋼板資料



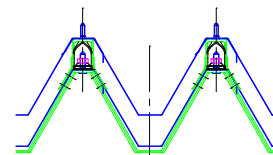
日鉄鋼板資料



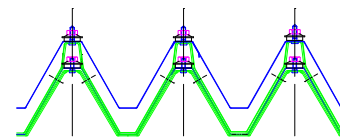
日鉄鋼板資料

KKル-7

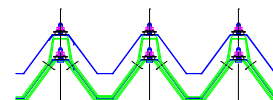
改修工法



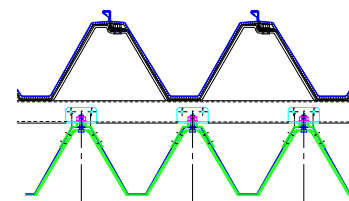
《V-300 ⇒ KK V-300》



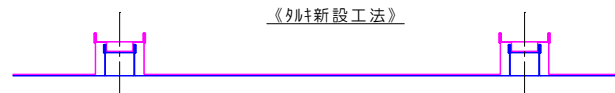
《W-500 ⇒ KK W-500》



《W-600 ⇒ KK W-600》



《外注新設工法》



《瓦棒⇒KK加へル-7》

板厚	0.8～1.0 (0.6)
使用原板巾	457
加工可能長さ	min1,100
屋根勾配	3/100以上
自然曲げ半径	250m以上
断熱材	4.0～6.0

専用部材

葺替金具
高さは、お問合せ

断熱金具
高さは、お問合せ

止面戸

17°の面戸

見切面戸

棟金具

雪止金具

日鉄鋼板 折板加へ工法「かいしん」・縦継ぎ二重折板工法「新築向けかいしん」
設計・施工マニュアルを参照願います。

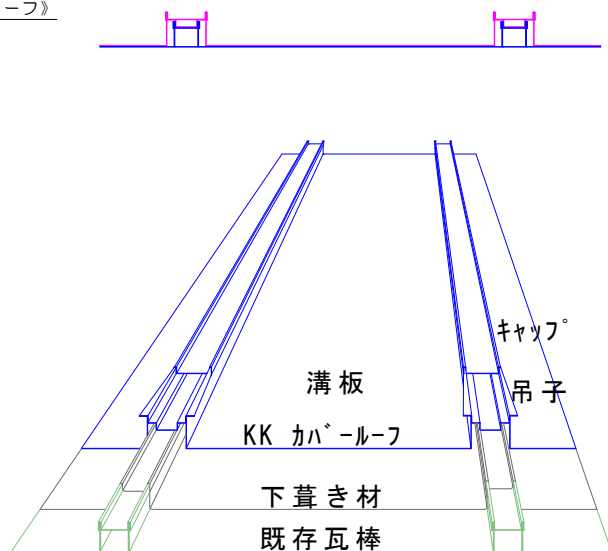
KKルーフ

改修工法

既存瓦棒を、新設瓦棒にカバーする工法

既存の瓦棒の意匠を損ねることがないカバー工法です。井戸水などで屋根面の融雪をする場合、山高を限りなく低く抑え、積雪のトンネル現象を極力抑えられる屋根のカバー工法です

《瓦棒⇒KKカバールーフ》



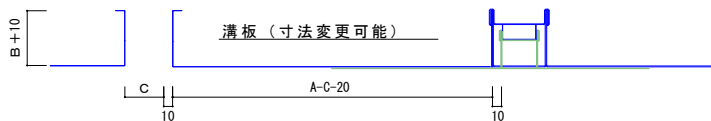
■ 採寸
＜K. K. カバールーフ＞



キャップ（寸法変更不可）



吊子（寸法変更不可）



溝板（寸法変更可能）

※既存瓦棒のA・B・C寸法を採寸願います（下記図参照）
弊社にて、カバールーフの施工可否を判定し、新規カバールーフの寸法をご提案します

■ 既存瓦棒



※各種改修工法は、既存の屋根材及びタイトフレーム・躯体状況を十分調査の上、工法を選択いただきますようお願い申し上げます

KKルーフ

現場加工



ハセⅡ型

地上成型

L≒60m



ハセⅠ型

結露防止貼付け

ラジアル加工

（運搬不能の高さ）



ハセⅡ型

スリジ成型

結露防止貼付け

KKルーフ

現場加工



立平葺き

止水材補修・充填
軒先加工



Ⅱ型

地上成型
結露防止貼付け



立平葺き

天秤 勾配楊重



Ⅱ型

改修工法

結露防止貼付け

KKルーフ

現場加工



Ⅱ型

二重葺

スリット成型

揚重機にて屋根材移動

立平葺き

天秤 勾配楊重

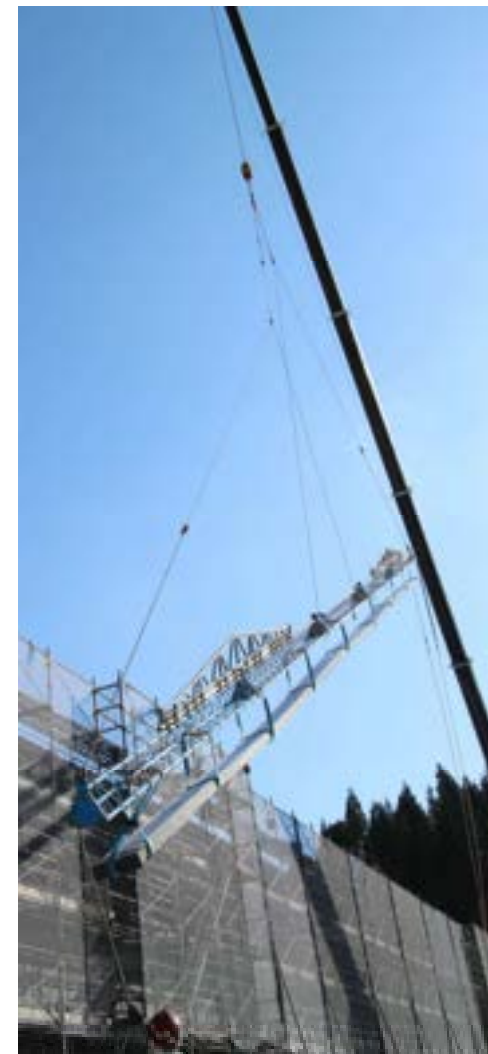
(材料・落下防止玉掛け)



Ⅱ型

スリット成型

結露防止貼付け



KK-7

機械設備



ラジアル・シヨイント プレス機 (35 t)



現場加工用アソライ-

成型機連動 電源 水濡れ対策



各種定尺切断機3本ロー-

テープ取付



オート斜行リッター



立平葺切り欠き用定尺切断機装備改造

KK-7

機械設備



断熱材 半自動リネーター



全自動管理型リネーター

鋼板 温度管理

接着剤 温度・粘度・付着膜厚管理

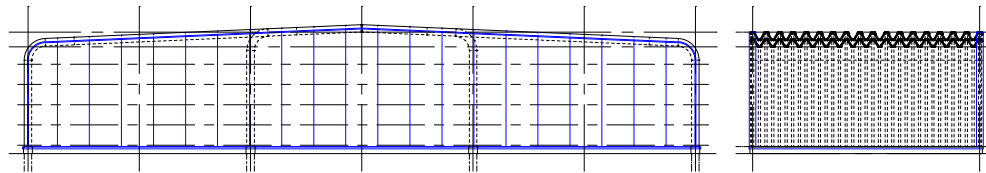
母材・加工指示・荷姿管理



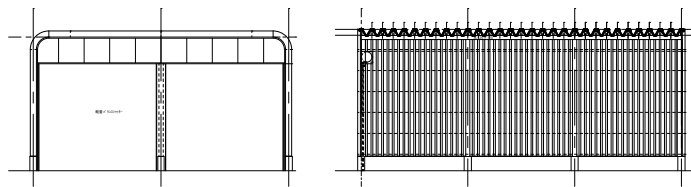
M&M

無柱・無梁工法

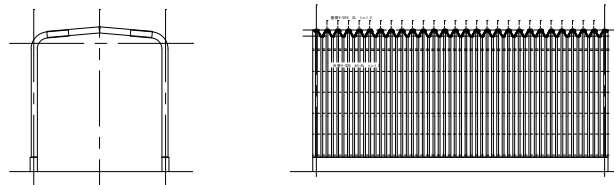
ベースプレート・基礎水切り・壁・屋根で構成する、工法



社用車がレージ（6台） V-300 SPGC t=1.6



行政廃棄物運搬車 車庫（2台） V-300 GL t=1.0



行政廃棄物運搬車 車庫（1台） V-300 SPGC t=1.6

KKルーフ

工場生産



自動倉庫

保管能力

3.0t × 310棚 = 930t

入出庫速度

平均 45秒



各種ロールフォーミング



V-300 t=1.6 ラジアル加工・ジョイント加工

工場生産



ニュールフ積載



ハゼ II 型 ラジアル加工



ニスアルーフ C-80積載



V-300 t=1.6 ラジアル加工・ジョイント加工



ハゼ II 型 ルーフパイプ



W-600 ガレージプレス



ニュールフ積載 (3段中空積載)



原材料入庫

物流 (1) 安全・品質・現場をトータル的に考える。

鋼板製の屋根材は、軽く・長く・つぶれやすく

運行許可・道路交通法を厳守

2段・3段・4段積載 (高さ制限厳守)



ハゼ II 型 3段空中積載



W-600 4段積載



ハゼ II 型 積載



現場加工 (成型機・アコイラー・天秤) 積載



現場加工 (成型機・アコイラー・天秤) 積載



ハゼ II 型 ラジアル工法 3段積載



ニュールーフ積載・現場搬入



ニュールーフ アーチ 2段中空積載



ハゼ II 型アーチ 2段積



ニュールーフ 3段中空積載



W-600 上下3段・前後2列積載



V-300 t=1.6 ラジアル・ジョイント工法



緊急応急住宅 板金役物



ニュールーフ アーチ成型積載



W-600

上下3段・前後2列積載 2台



ニュールーフ 3段中空積載



瓦棒 クローラー車両積載

「モックアップ」

特殊な建造物・特殊な屋根工法の場合は、モックアップ製作・検証



C-80 二重葺き 特殊部材



V-300 SPGC t=1.6

ラッパ加工

重ねジョイント加工



C-80 二重葺き 特殊部材

防火材料

認定番号	【NM-8673】	無機質断熱材裏貼/金属板	0.3mm以上
	【QM-9829】	難燃化ポリエチレンフォーム裏貼/金属板 (ガラス繊維系無機質断熱材)	0.6mm以上
	【QM-9849】	無機質高充填フォームプラスチック裏貼/金属板	1種 0.5mm以上 2種 0.6mm以上

耐火防火認定一覧

認定番号	認可成型品	仕様・工法	防火認定	備考
FP030RF-1876 (1)	エバールーフⅠ型 エバールーフⅡ型	銅板厚さ 0.35~1.0 裏貼りなし 母屋ピッチ607以下 硬質木片セメント板 18mm以上	屋根30分耐火構造	日鉄鋼板補材使用
FP030RF-9150	エバールーフⅠ型 エバールーフⅡ型	木毛セメント板裏貼/ポリエチレン フォームフェルト・金属板屋根造木工法	屋根30分耐火構造	日鉄鋼板補材使用
FP030RF-1764	ニスクルーフC80	銅板厚さ 0.8~1.0 裏貼りなし 母屋ピッチ607以下 野地板 硬質木片セメント板15mm以上	屋根30分耐火構造	日鉄鋼板補材使用
FP030RF-1772	ニスクルーフC80	銅板厚さ 0.8~1.0 裏貼りあり 母屋ピッチ607以下 野地板 硬質木片セメント板15mm以上	屋根30分耐火構造	日鉄鋼板補材使用
FP030RF-1794-1	ニスクルーフL145	ガラス繊維系無機質断熱材 5mm裏貼り 母屋間隔 4,600以下	屋根30分耐火構造	日鉄鋼板補
FP030RF-1998	ニスクルーフL145	無機質高充填フォームプラスチック 4mm裏貼り 母屋間隔 4,000以下	屋根30分耐火構造	日鉄鋼板補
FP030RF-2022 (1) ~ (4)	ニスクルーフL145	上折板0.8mm以上/下折板0.6mm以上 母屋間隔 6,000以下 グラスウール10Kg/? 100mm以上 *裏打ち材の組合せで枝番が変わります	屋根30分耐火構造	日鉄鋼板補
PCO30NE-0033	KKサイディング 70・90・100	日鉄鋼板製 銅板 SUS鋼板・ハイレタンを除く 石膏ボード 9.5mm+12.5mm	防火構造	日鉄鋼板補材使用
PCO30NE-0053	KKサイディング 70・90・100	日鉄鋼板製 銅板 SUS鋼板・ハイレタンを含む 石膏ボード 9.5mm+12.5mm	防火構造	日鉄鋼板補材使用
PCO30NE-0044	KKスバンドレル K型は適応外	日鉄鋼板製 銅板 SUS鋼板・ハイレタンを除く 石膏ボード 9.5mm+12.5mm	防火構造	日鉄鋼板補材使用
PCO30NE-0038	KKサイディング 40	日鉄鋼板製 銅板 SUS鋼板・ハイレタンを除く 石膏ボード 9.5mm+12.5mm	防火構造	日鉄鋼板補材使用
PCO30NE-0286-1	KKサイディング 角渡スリムは 適応外	日鉄鋼板製 銅板 SUS鋼板を除く 石膏ボード 9.5mm+12.5mm	防火構造	日鉄鋼板補材使用

屋根30分耐火認定一覧 シングル

認定番号	認可成型品	裏貼材		タイトフレーム				許容梁間	認定取得
		種類	厚さ	厚さ	幅	溶接長さ	溶接箇所		
FP030RF-9325	ハゼⅠ型・ハゼⅡ型・ハゼⅢ型 (2山) ・V300・W500・W600	ガラス繊維系無機質断熱材	-	3.2以上	-	-	-	*別表	日本金属屋根協会
FP030RF-9326		無機質高充填フォームプラスチック	-	3.2以上	-	-	-	*別表	日本金属屋根協会
FP030RF-0501	W600	ガラス繊維系無機質断熱材	4~10	2.3~4.5	28~45	20mm以上	1谷当り 2ヶ所以上	2,250以下	日本金属屋根協会
FP030RF-0502	W500	ガラス繊維系無機質断熱材	4~10	2.3~4.5	38~45	20mm以上	1谷当り 2ヶ所以上	3,750以下	日本金属屋根協会
FP030RF-0633	ハゼⅡ型	ガラス繊維系無機質断熱材	5~10	2.3~4.5	39~50	20mm以上	1谷当り 4ヶ所以上	4,500以下	日本金属屋根協会
FP030RF-0927	ハゼⅢ型 (2山)	ガラス繊維系無機質断熱材	5~10	2.3~4.5	28~45	20mm以上	1谷当り 4ヶ所以上	3,500以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1504	ハゼⅣ型	ガラス繊維系無機質断熱材	5~10	1.6~4.5	30~50	20mm以上	1谷当り 4ヶ所以上	1,220以下	日本金属屋根協会
FP030RF-0552	W600	無機質高充填フォームプラスチック	4~10	2.3~4.5	28~45	20mm以上	1谷当り 2ヶ所以上	1,800以下	日本金属屋根協会
FP030RF-0550	W500	無機質高充填フォームプラスチック	4~10	2.3~4.5	38~45	20mm以上	1谷当り 4ヶ所以上	1,800以下	日本金属屋根協会
FP030RF-0632	ハゼⅡ型	無機質高充填フォームプラスチック	4~10	2.3~4.5	39~50	20mm以上	1谷当り 4ヶ所以上	4,000以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1440	ハゼⅢ型 (2山)	無機質高充填フォームプラスチック	4~10	2.3~4.5	30~50	20mm以上	1谷当り 4ヶ所以上	1,900以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1505	ハゼⅣ型	無機質高充填フォームプラスチック	4~10	1.6~4.5	30~50	20mm以上	1谷当り 4ヶ所以上	1,220以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1877 (1) (2)	ハゼⅠ型	(1) なし (2) 無機質高充填フォームプラスチック他	製品による	2.3~4.5	39~50	20mm以上	1谷当り 2ヶ所以上	4,000以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1989 (1) (2)	ハゼⅡ型	(1) なし (2) 無機質高充填フォームプラスチック他	製品による	2.3~4.5	39~50	20mm以上	1谷当り 2ヶ所以上	4,000以下	日本金属屋根協会

屋根30分耐火認定一覧 二重

認定番号	認可成型品	裏貼材		タイトフレーム		グラスウール		許容梁間	認定取得
		種類	厚さ	厚さ	溶接箇所	厚さ	密度		
FP030RF-1802 (1) ~ (9)	W600	ガラス繊維系無機質断熱材 無機質高充填フォームプラスチック	製品による	2.3~4.5	1谷当り 2ヶ所以上	100	10K/㎡	2,500以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1801 (1) ~ (9)	W500	ガラス繊維系無機質断熱材 無機質高充填フォームプラスチック	製品による	2.3~4.5	1谷当り 2ヶ所以上	100	10K/㎡	3,750以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1928 (1) ~ (4)	ハゼⅢ型 (2山)	ガラス繊維系無機質断熱材 無機質高充填フォームプラスチック	製品による	2.3~4.5	1谷当り 4ヶ所以上	100	10K/㎡	3,500以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1944 (1) ~ (4)	ハゼⅠ型	ガラス繊維系無機質断熱材 無機質高充填フォームプラスチック	製品による	2.3~4.5	1谷当り 2ヶ所以上	100	10K/㎡	4,000以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1799-2 (1) ~ (4)	ハゼⅡ型	ガラス繊維系無機質断熱材 無機質高充填フォームプラスチック	製品による	2.3~4.5	1谷当り 4ヶ所以上	100	10K/㎡	5,000以下	日本金属屋根協会
FP030RF-1879-2 (1) ~ (4)	ハゼⅡ型	ガラス繊維系無機質断熱材 無機質高充填フォームプラスチック	製品による	2.3~4.5	1谷当り 4ヶ所以上	100	16K/㎡	5,000以下	日本金属屋根協会

防火材料

屋根 30分耐火認定一覧 二重

認定番号	認可成型品	裏貼材		タイトフレーム		グラスウール		許容梁間	認定取得 ビルトマテリアル株式会社
		種類	厚さ	厚さ	溶接箇所 1谷当り 4ヶ所以上	厚さ	密度		
FP030RF-1542	ハゼⅡ型	ガラス繊維系無機質断熱材 無機質高充填フォームプラスチック	製品による	2.5～4.5	100	10K/㎡	5,000以下		

* 認定番号 FP030RF-9325・FP030RF-9326における最大許容梁間

折板厚	最大許容梁間				折板形状		
	連続ばり	単純ばり	片持ばり	山高	山高	ピッチ	
0.6	4,000	3,500	1,700	175以下	175以下	300以下	
	5,800	4,900	1,900	150以下	150以下	250以下	
0.8	6,800	5,700	2,500	250以下	250以下	500以下	
1.0	7,300	6,200	3,000				
1.2	8,800	6,700	3,500				

※1 資料 「H-0920W」(GW10kg)及び「K-1525W」(GW10kg)の認定番号1～9について

張付け位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9
上裏材	×	×	G	G	×	P	P	G	P
下裏材	×	G	×	G	P	×	P	P	G

×：裏張断熱材なし

G：ガラス繊維系シート断熱材 t＝5～10mm

P：無機質高充填フォームプラスチック t＝4～10mm

※2 資料 「H-1733W」(GW10kg)、「H-1750W」(GW10kg)及び「h-1750W」(GW16kg)、

「H-0930-1山W」(GW10kg)及び「H-0930-2山W」(GW10kg)の認定番号1～4について

張付け位置	1	2	3	4
上裏材	×	×	○	○
下裏材	×	○	×	○

○：裏張断熱材あり

×：裏張断熱材なし



防火材料

適用裏打材

認定番号	裏打材	製品名	厚さ (mm)
FP030RF-9325	ガラス繊維シート	スーパーフェルトンⅡ (ニチアス㈱)	2～10
FP030RF-9326	無機質高充填フォームプラスチック	1種 ハイエチレンスーパー (㈱レゾナック・テクノサービス) 1種 フネンエース (古河電気工業㈱) 2種 しずかエース (古河電気工業㈱)	9mm以下 4mm以下
FP030RF-0501 FP030RF-0502 FP030RF-0633 FP030RF-1504	ガラス繊維系断熱材	スーパーフェルトンⅢ (ニチアス㈱) フネンルーフG2 (日本グラスファイバー工業㈱) NSフネンGF (中川産業㈱)	5～10
FP030RF-0552 FP030RF-0550 FP030RF-0632 FP030RF-1505	無機質高充填フォームプラスチック	フネンエース (古河電気工業㈱) ハイエチレンスーパー (㈱レゾナック・テクノサービス)	4～10
FP030RF-1877 (1) (2) FP030RF-1989 (1) (2)	ガラス繊維系断熱材 無機質高充填フォームプラスチック PET不織布制振シート	スーパーフェルトンⅢ (ニチアス㈱) フネンルーフG2 (日本グラスファイバー工業㈱) NSフネンGF (中川産業㈱) フネンエース (古河電気工業㈱) ハイエチレンスーパー (㈱レゾナック・テクノサービス) サウンドブルーFSF-2R (高圧ガス工業)	5～10 4～10 2～4
FP030RF-1802 (1)～(9) FP030RF-1801 (1)～(9)	ガラス繊維系断熱材 無機質高充填フォームプラスチック	スーパーフェルトンⅢ (ニチアス㈱) フネンルーフG2 (日本グラスファイバー工業㈱) NSフネンGF (中川産業㈱) フネンエース (古河電気工業㈱) ハイエチレンスーパー (㈱レゾナック・テクノサービス)	5～10 4～10
FP030RF-1944 (1)～(4) FP030RF-1799-2 (1)～(4)	ガラス繊維系断熱材 無機質高充填フォームプラスチック PET不織布制振シート ポリエチレン樹脂フォーム	スーパーフェルトンⅢ (ニチアス㈱) フネンルーフG2 (日本グラスファイバー工業㈱) NSフネンGF (中川産業㈱) ハイエチレンスーパー (㈱レゾナック・テクノサービス) フネンエース (古河電気工業㈱) しずかエース (古河電気工業㈱) サウンドブルーFSF-2R (高圧ガス工業㈱) サウンドブルーGF-4R (高圧ガス工業㈱) フォームエース (古河電気工業㈱) きららエース (古河電気工業㈱)	5～10 4～10 1.7～4 3.8～4.2 2～10 3.6～5

鋼板材料

認定番号 FP030RF-9325・FP030RF-9326

金属板：厚さ0.6mm以上。 JIS A 6514に準ずる。

1. JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) JIS G 3313 (電気亜鉛めっき鋼板) JIS G 3314 (アルミめっき鋼板) 等の亜鉛・アルミめっき鋼板

2. JIS G 4304～4307、4312 (ステンレス鋼板) 等の高耐候性鋼板

3. JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) JIS G 3318 (塗装溶融亜鉛・5%アルミめっき鋼板) JIS G 3320 (塗装ステンレス鋼板) 等の
焼付塗装鋼板で不燃材料に認定されている融点1450℃ (ただし鋼板) 以上の鋼板

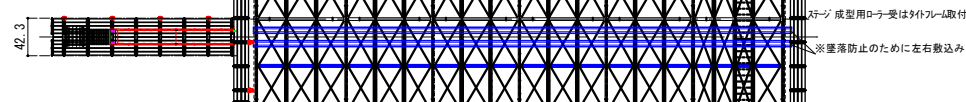
現場加工

- 1、現場加工は、製品長さが運搬不可能の場合や、建築現場が搬入困難な場合
荷姿が運搬不適格な場合に行います。
- 2、建築現場の、状況（トラック搬入・成型機設置地盤・ｽﾍﾞｰｽ）などを、調査の上
計画を、お願い致します。
- 3、現場に必要な、電源 220V（3P-10KW 20KW 30KW）・揚重機・ｽﾍﾞｰｼﾞ・ｽﾍﾞｰｽ
養生資材などが必要です。

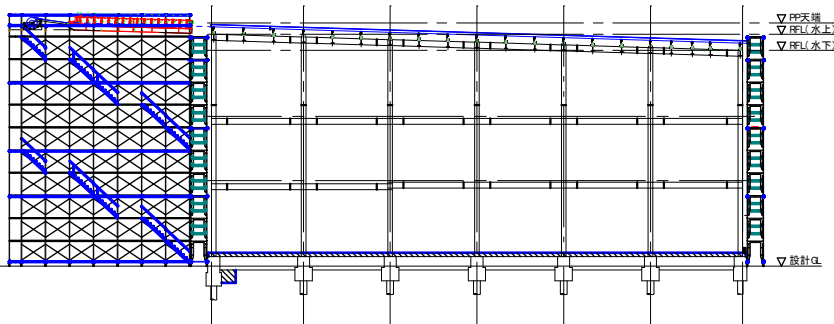
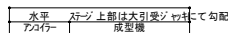
成型機設備タイプ	W×H×L	重量	葦き方向 (テープより)	テープ高さ (GLより)
KKJ-7 H ¹ I 型	1000×1100×9000	7500	右→左	540
KKJ-7 H ¹ II 型	1200×1100×9000	7700	右→左	545
KKJ-7 H ¹ IV 型 (A7・C7 共)	1300×1000×9200	6500	右→左	510
KKJ-7 V-300	1000×900×9200	8000	右→左	535
KKJ-7 H ¹ III 型	1045×1070×7400	4920	左→右	570
KKJ-7 H ¹ 5 型	1045×1070×9940	4920	左→右	570
KKJ-7 H ¹ 7 型	1045×1070×7400	6920	左→右	570
A7・C7 (D7・E7 共)	1500×800×3200	1800		
KKJ-7 プレス機		6000		
KKJ-7 フィット-7		4750	左→右	
※重量はホットメルトアプリケーションター含まず				
KKJ-7 立平葦	830×635×6005	3080	左→右	
KKJ-7 瓦棒葦	900×900×2000	1000	—	
KKJ-7 段葦き I	585×595×4465	1400	左→右	460
KKJ-7 段葦き II		2000	左→右	
KKJ-7 横葦1段	615×560×3625	1200	左→右	615
KKJ-7 横葦2段 I 型	715×600×5850	2000	左→右	600
KKJ-7 横葦2段 II 型	760×600×5750	2200	左→右	600

□ステーション成型

※成型機設置場所はPP取外し

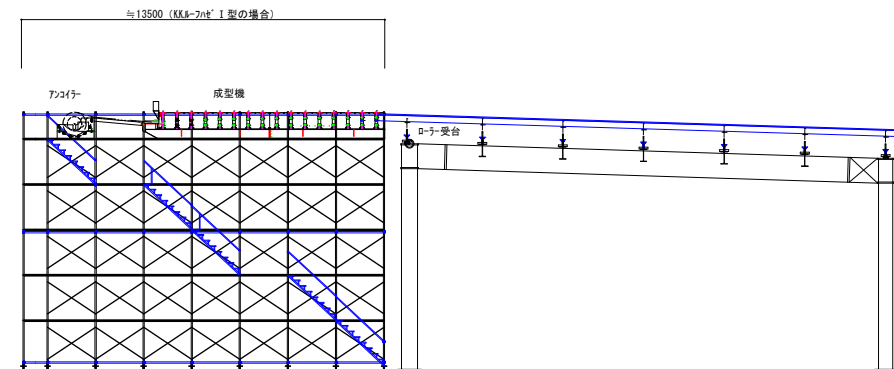


ステージ成型用ロー受はタイトフレーム取付
※成型機中心=タイトフレーム中心
※成型機バスタイプは、タイトフレーム受上より、
KKバネⅡ型の場合545mmの高さになるようにセット

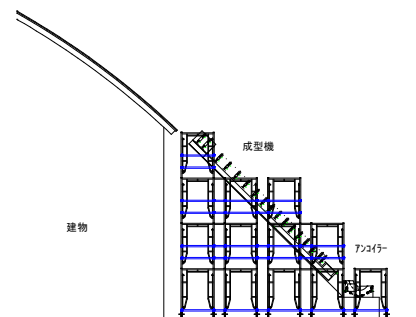


現場加工

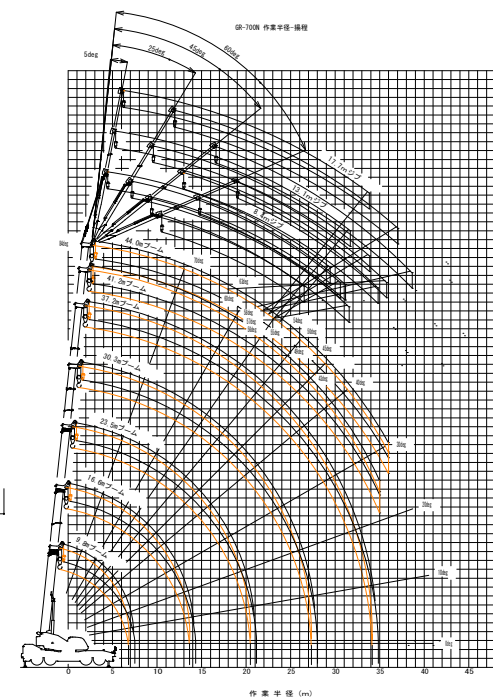
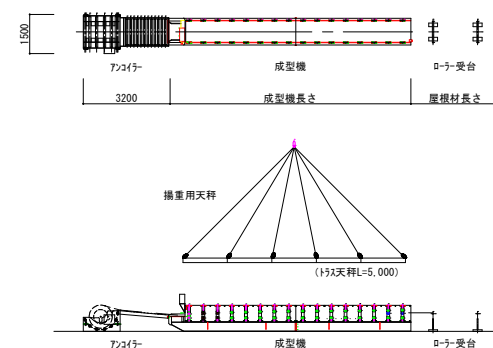
□ ステージ 成型



☐ ステージ成型（アーチ屋根）

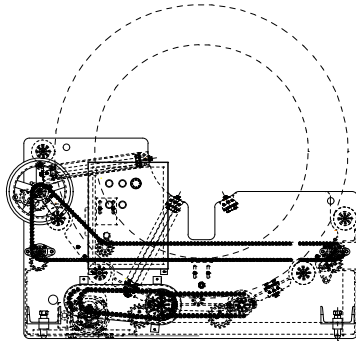


☐ 地上成型



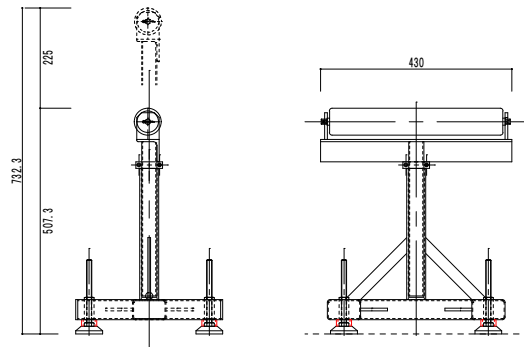
- ◆ 上層はブームおよびジブのたわみを含んでいません。
- ◆ 上層は、7.7mが最大(7.8m)突出状態での図です。
- ◆ 上層中破断の部分は、前方特別性能の場合を示します。

「安全・省力化を考慮し、順次開発中」



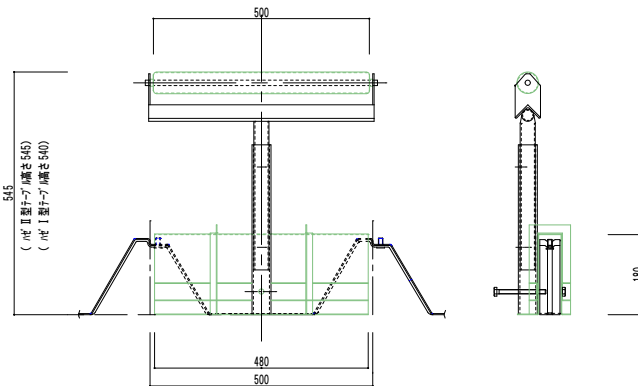
アソイター

各種成型機と連動
電気系統の防水対策をし、
現場でのトラブル削除



地上成型用受口ハア

地上での不陸を4か所の
調整脚にて解消



ステージ成型用受口ハア

作業床の不安定な梁上に
タクトフレームに固定

ルーフ搬送機

アルムープ



現場で、揚重機の作業半径不足等の事情により手作業による運搬の省力化
※70mを7人程度で運搬の実績があります。



充電式電動ハゼ締機

アルシーマ

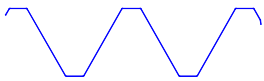
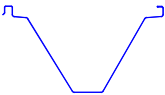
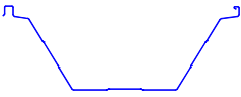
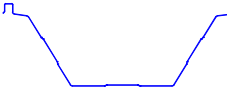
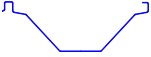
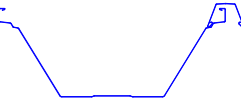
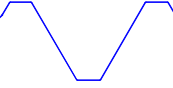


実用新案登録済み

充電式バッテリーを動力とし、コードレスで稼働する電動シーマ

ロールフォーミング製品

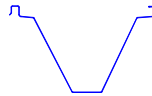
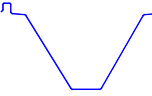
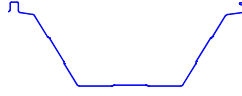
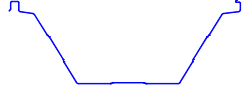
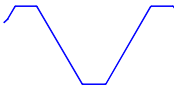
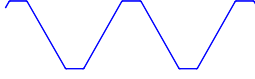
ULTEC

K. K. ルーフ		W-500
ハレⅠ型		W-600
ハレⅡ型		フィットルーフ
ハレⅡ型 現場成型仕様		H立平葺
ハレⅢ型		立平葺
ハレⅣ型 ニュールーフ		瓦棒葺
ハレⅤ型		横葺 1段
ハレⅦ型		横葺 2段Ⅰ型
ニスクルーフ L145		横葺 2段Ⅱ型
ニスクルーフ C-80		段葺 1型 Iハールーフ1型
ニスクルーフ C-200		段葺 2型 Iハールーフ2型
V-300		段葺 2F型

K. K. サイディング

	角波 K. K. -70
	角波 K. K. -90
	角波 K. K. -100
	角波スリム
	角波スリム
	リブ波スリム
	リブ波
	小波
	小波スリム
	中波
	大波
	K. K. スポットロック
	K. K. スポットロックF

カハ - 工 法

	ハレⅠ型 300T
	ハレⅠ型
	ハレⅡ型
	ハレⅡ型 現場成型仕様
	ハレⅢ型
	ハレⅣ型 ニュールーフ
	ハレⅤ型
	ハレⅦ型
	V-300
	W-500
	W-600

株式会社 コマサヤアルテック

940-1140 新潟県長岡市上前島1-1803 TEL:0258-23-7001

E-MAIL:ultec@alto.ocn.ne.jp FAX:0258-23-7002

本 社 〒940-1140

新潟県長岡市上前島1-1803

TEL 0258-23-7001

FAX 0258-23-7002

URL:<http://komasuya-ultec.com/>

E-mail:ultec@alto.ocn.ne.jp

加工センター 〒940-1139

新潟県長岡市高島町新保822-1

TEL 0258-22-2802

FAX 0258-23-1222

E-mail:ultec.ej@themis.ocn.ne.jp

※商品改良等により、予告なく仕様の一部を変更する場合がございますのでご了承ください。

※詳細については、弊社担当者までお問合せください。